

## 第3章

### コンソーシアムの構築



## 第3章 コンソーシアムの構築

### 1. コンソーシアム参加団体と体制

本プロジェクトでは前章までに述べた課題を担うことのできる団体によりコンソーシアムを構築した。参画した団体は以下のとおりであった。

- ・学校法人 龍谷大学
- ・一般社団法人 スポーツパフォーマンス分析協会
- ・特定非営利活動法人 日本トレーニング指導者協会
- ・京都市教育委員会
- ・周南市教育委員会

### 2. 各参加団体の役割

以下各団体の特徴と果たした役割について述べる。

#### (1) 学校法人 龍谷大学

龍谷大学には、学部共通コースとしてのスポーツサイエンスコースという教育カリキュラムがあり、経営学部、経済学部、法学部、政策学部の学生が所属している。スポーツサイエンスコースでは、スポーツの自然科学的側面と人文社会科学的側面に関する研究・教育活動を通して実社会のスポーツに関する様々な問題解決のできる基礎能力を身に付けた学生を世の中に送り出そうとしている。とくに本コンソーシアムに参画するにあたっては、この数年間にわたり全国規模で子どもの運動能力分析とそれに基づくトレーニングアドバイスを手掛け、一定の成果と研究結果を蓄積し、そのノウハウを持っている長谷川裕教授のゼミが主体となって、測定プログラムや指導計画を立案し、具体的な内容の構成を行った。

また、各種のスポーツ活動やスポーツイベントを効率よく進めるためにはマネジメントの視点や手法が必要となる。さらに子どもの運動に対する動機づけと興味関心を引き出し

運動することの楽しさを経験させるためにはそうした指導を行うことのできるスタッフも必要となる。したがってこうした観点からスポーツマネジメントを専門とする松永敬子准教授のゼミがその面での活動と意識調査などを担うこととなった。

#### (2) 一般社団法人 スポーツパフォーマンス分析協会 (IPAS)

パフォーマンス分析協会は、子どもたちの運動能力測定のための各種機器類の操作や正確なデータの収集、統計処理に基づく迅速なフィードバックという手法を身に付けている。そのため、学校現場での効率よく安全に測定できる機器のセッティングから測定、分析、指導のための基礎資料までを手掛けた。

#### (3) 特定非営利活動法人 日本トレーニング指導者協会 (JATI)

日本トレーニング指導者協会は、スポーツ科学やトレーニング科学といった諸科学の成果に基づいたトレーニング指導を行うことを基本理念として掲げており、また科学的測定による客観的なデータを用いて指導することを会員指導者の倫理規定に謳っている NPO 団体である。したがって子どもたちに対する体力づくりの指導においても、運動能力の測定と分析の結果に基づいて、個々の課題に即したトレーニングを実施し、かつまたトレーニングの成果を客観的なデータで確認しながら指導を展開する能力をもったトレーニングの専門家による指導が可能となった。

#### (4) 京都市教育委員会及び周南市教育委員会

教育委員会組織として本プロジェクトの実施意義を各学校長等に伝え、希望を募り、対象となる学校を選定した。また実施段階に至る前の段階で、各学校との調整を行い、学校行事や施設利用状況との兼ね合いで、運動能力測定の日程やトレーニング指導の日程を詳細に調整する役割を果たした。